

# 情報の収集と 発信の効果

皆さんも仕事内容に応じて様々な情報収集をネットや、新聞、雑誌、セミナー等で収集しておられると思います。

私も新聞（業界新聞含む）や雑誌（週刊誌含む）、業界専門誌、各社が出しているメールマガジン（20社近く）、更にセミナー（オンラインセミナー含む）参加等で収集していますが、10年前、20年前と比較にならない情報量になり、とても勉強になり役に立っています。

前職営業時代からそうですが、こうした情報収集の中で得意先や仕事上の関連先、社内で役立つものを整理、新聞・雑誌等は切り抜きしPDFにして保存、メールでの情報の保存等、その都度行ない、自分の中では毎日のルーチンワークとなっています。

仕事柄、研修やセミナーで、こうした最新ニュースを取り上げてお話ししたりしていますが、説得・納得の効果が少し上がるのかなと感じています。

こうした情報は自分だけで留めておくのではなく、自分のグループ内や部下にも最新情報として披露し、共有することが、良好なコミュニケーションにもなり、勉強の材料にもなります。又、新しいニュースを得ることで知識の習得にも繋がり、部下の育成（文書力、表現力等）にも繋がります。



そんなことは見ているだろう、知っているだろうと思いがちだが、人によっては見落とししたり、気が付かなかったりしていることがよくあるものです。

上司自らこうした情報の発信を積極的に行い、部下に意識をさせることで良い刺激がおこり、部内、課内同士で、ニュースの掘り出し等、様々な情報を持ちよることで、その部署は相乗効果で物知り集団になっていきます。

その結果、様々な場面での対話の引き出しが増え、お客様の継続的な結びつきや信頼を勝ち取ることに、そして仕事が前向きに良い方向に動いていき、その行動から生まれるものは一石二鳥にも三鳥にもなります。

ただし、仕事ばかりでは無味乾燥というところもありますので、時には美味しい、珍しい食べ物やお店、健康促進の話、コミュニケーションやモチベーションアップに関連する話、絵や写真が好きな人がいれば展覧会や個展などの情報を、意識的に持ち込むのも良いのではないのでしょうか。職場内で仕事だけのギスギスしたものから、潤いのある職場になっていくかもしれません。

あなたの部署でもこれに近いこと、やってみませんか！

長嶺 堅二郎

